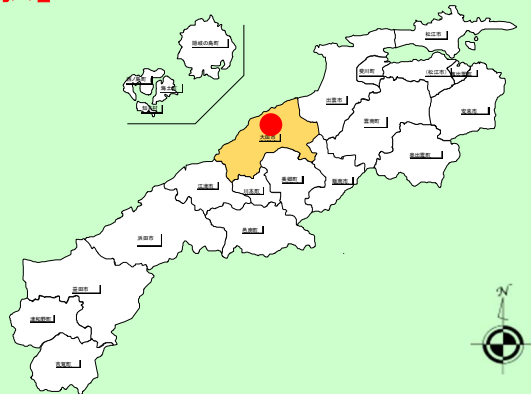


令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（島根県）

【多面的機能支払】

多くの
「宅野地域農地保全会」（大田市）
おおだし

- （１）認定農用地面積：15.59ha
（田：14.67ha、畑：0.92ha）
- （２）組織構成：
５集落（農家16戸、非農家一戸）
開水路：3.6km、農道1.9km
ため池：1箇所



【組織の概要】

本組織は、平成26年度に、島根県大田市仁摩町宅野地域の5集落が参加して設立された組織です。近隣の小学生を対象とした出前授業や農業体験と、地域の女性を主な対象とした遊休農地を活用した野菜づくり教室を行うなど、資源向上活動の啓発・普及活動を実施しています。また、本組織を含む地域の各種団体が参加する「宅野WAKU×2会議」において新しいブランド商品の開発を行うなど、多様な団体が一体となって地域の次世代を担う者たちへ繋ぐ取組を行っています。

【主な取組内容】

○遊休農地を活用した野菜づくり教室や出前授業での地域交流

組織の全構成員で、毎年地域農業などについて話し合っており、遊休農地の活用を検討する中で「まちづくりセンター」と連携し、女性を対象活動とした野菜作りを行うこととなりました。今では、子育て相談などの場となっています。また、小学校で出前授業を実施し、多面的機能に関する話のほか、田植えなどの農業体験を通じて食の大切さを教えており、取組の効果として、卒業生の中から数名が地元で就農しました。

○地域農業の担い手の育成・確保に向けたブランド米の誕生

各種団体から若い構成員が集まり、地域づくりを協議する「宅野WAKU×2（ワクワ）会議」にて、特産品を作ろうという意見が出され、本組織も加わり地域産米をブランド化することとなりました。パッケージは地元の高校生がデザインするなど、地域一体となって取り組み、名前は地域の伝統文化である神楽にちなみ「宅野神楽米」として商品化され、販売された道の駅では完売するほど好評を得ております。



遊休農地発生防止活動
（上：実施前 下：実施後）



地域の女性たちによる
遊休農地を活用した野菜づくり



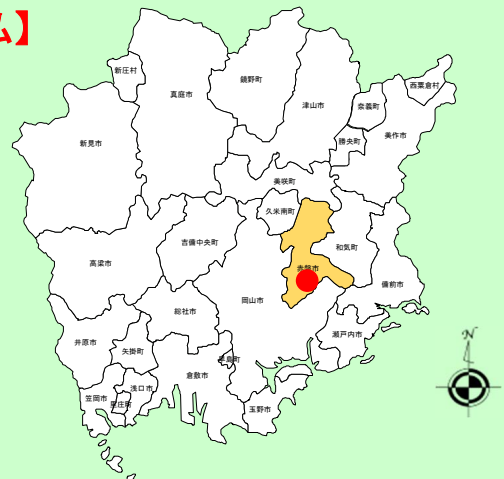
小学校での出前授業

令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（岡山県）

【多面的機能支払】

ほさき あかいわし
「穂崎地域資源保全会」（赤磐市）

- （１）認定農用地面積：40.24ha
（田：39.85ha、畑：0.39ha）
- （２）組織構成：
１集落（農家31戸、非農家34戸）
開水路：14.1km、農道：7.5km
ため池：9箇所



【組織の概要】

本組織は、平成26年度から多面的機能支払交付金に取り組んでいます。

担い手農家を中心に、地域住民等非農家と連携して地域が一体となって活動を行っており、景観形成として農道にコスモスを植え、水田の貯留機能向上として田んぼダムに取り組んでいます。

【主な取組内容】

○地域住民が一体となって取り組む共同活動

本組織では、非農家が40名ほど活動に参加しています。地域イベントとして行う「一斉奉仕作業」での景観形成活動や、地域内にある、旧字別に分けた8区がそれぞれで実施する農地維持活動があり、体力などを考慮した作業の割当を行うことで、様々な年齢層が参加できるようにしている部分も「地域ぐるみ」といえます。

また、地域ぐるみの共同活動を行うために、次世代の育成は「重機」がポイントと考えています。「苦痛な草刈り作業」でも、若い世代に重機を使った草刈りを体験させることで、達成感が感じられる「レジャー」（娯楽）として取り組んでいます。

○田んぼダムの取組、地域の防災力を強化

平成30年7月の西日本豪雨で、河川の堤防が決壊したことを契機に取り組むこととなりました。当時、市の担当者から「田んぼダム」の取組について説明があり、当地域は河川の上流に位置していることから、この取組で被害に遭った下流地域のためにできることとして、防災減災に繋がればと皆が賛同し取組に至りました。さらに、各地区に一人は必要と防災士を取得した者が13名おり、防災意識がとても高い地域です。



田んぼダムの取組



農道にコスモスを植栽



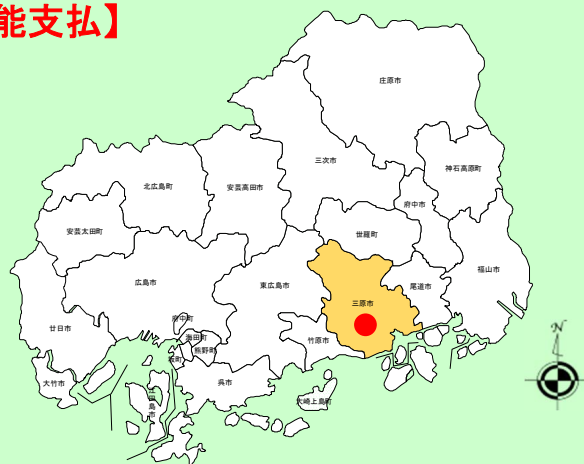
重機を使った水路の泥上げ

令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（広島県）

【多面的機能支払】

「アクア上中」^{かみなか みはらし}（三原市）

- （１）認定農用地面積：72.92ha
（田：72.8ha、畑：0.12ha）
- （２）組織構成：
4集落（農家68戸、非農家49戸）
開水路：25km、農道5.0km
ため池 9箇所



【組織の概要】

本地区は、広島県の中央よりやや東に位置し、なだらかな賀茂台地を構成する緑豊かな山々を有し、近隣市町や空港へのアクセスの利便性にも恵まれています。

平成19年度に組織を設立し、構成員には、事務局である（農）ユートピアかみなかを中心に、非農家、女性会、子供会、老人会、壮年会などの多様な団体で構成されており、水路や農道、ため池の保安全管理、センチピードグラスの植栽、獣害防護柵の設置、農業用施設の維持・補修を行っています。

【主な取組内容】

○農事組合法人の女性職員が活動の中心に

当組織の前身は、個々の集落で多面的機能支払の活動を行っていましたが、吸収合併することで事業の利便性が向上することを、農事組合法人の女性役員が主体で各組織に説明し、現在の形になりました。また、女性役員たちの声掛けにより、今ではアクア上中の役員13名のうち5名が女性役員です。

○6次産業化や地域の特性を生かした新たな取組

フードロス削減への意識から、女性が中心となり廃棄されるレンコンの端を使ったチップスを考案し、商品化に力を入れています。実際、市内のホテルのメニューに加わることで、ホテルの朝食に並んだチップスを目にしたときの喜びが、今の活動の励みになっています。また、地域の農業者が高齢のため、機械化できる農作物を検討した結果、ウイスキーの原料となる大麦を栽培することとなりました。大麦は広島県産原料にこだわる蒸溜所に出荷予定であり、更なる特産品へとつながることが期待されます。



レンコンの出荷調整



男女参画の活動計画策定



ひまわり植栽による景観形成活動

令和6年度 多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（山口県）

【多面的機能支払】

やかたばら やまぐちし
「八方原の環境を守る会」（山口市）

（1）認定農用地面積：28.4ha

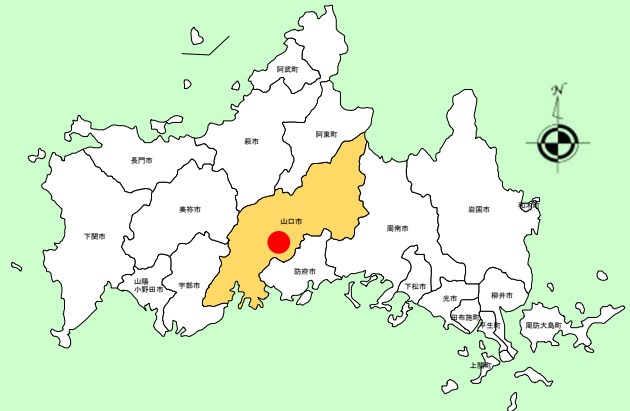
（田：27.7ha、畑：0.7ha）

（2）組織構成：

1集落（農家26人、非農家2人）

農事組合法人1、自治会1、老人会1

開水路：7.1km、農道：3.5km



【組織の概要】

本活動組織は、平成19年度から活動を開始しました。活動当初の広報活動として情報誌「やかたばら環境通信」を発刊し、現在までの発行数は200号を超えています。

本地域は水害に弱く、対象区域の上流側では大雨時に内水氾濫により道路が冠水するなどの被害を受けるため、大雨後は、非農家や事業所も参加し水路の泥上げや農道の清掃を行うなど、地域で協力し合う体制が構築されています。

【主な取組内容】

○人と人を繋ぐ情報誌「やかたばら環境通信」

「やかたばら環境通信」は活動当初から毎月発行しており、非農家や事業所等を含む自治会全戸に配布されています。本交付金の活動内容をはじめ、本地域の農業や防災、出来事など地域に密着した話題を発信することで、農業や農村環境の保全への理解促進のみならず、地域の人と人を繋ぐ役割も果たしています。広報活動が実を結び、非農家や自治会の準構成員である事業所が、共同活動や地域防災活動に参加するようになりました。情報誌はインターネットでも閲覧できるようにし、今後はTikTokやInstagramで動画を流すなど、時代に合わせた広報活動を展開していきたいと考えています。

○水害に備えた地域の協力体制

本地域における内水氾濫による冠水被害を軽減させるため、各団体や地域住民との話し合いのなかで、地域防災のために農地や農業用施設を役立てることを決めました。その影響で農地への冠水や土砂流入等もありますが、大雨後は、担い手である農事組合法人を中心に、非農家や事業所も参加し水路の泥上げや農道の清掃を行うなど、地域で協力し活動を行っています。



小学生の野外学習と
連携した交流活動



設立当初から毎月発行されている
「やかたばら通信」



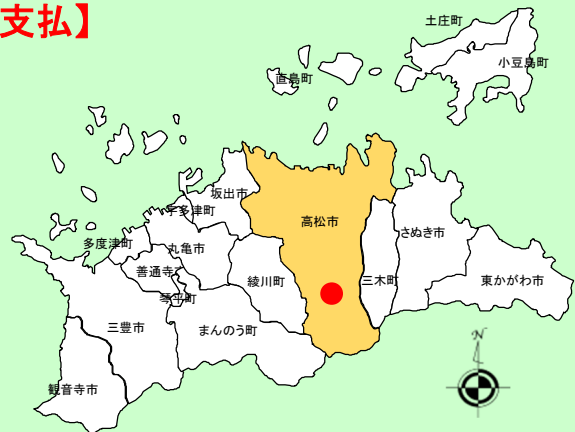
台風通過後の農道清掃

令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 推薦組織（香川県）

【多面的機能支払】

こうなん たかまつし
「香南地区自然保護組合」(高松市)

- (1) 認定農用地面積：363.56ha
(田：311.52ha、畑：52.04ha)
- (2) 組織構成：
35集落（農家776戸、非農家363戸）
開水路：36.3km、パイプライン：27.3km
農道：30.0km、ため池：34箇所



【組織の概要】

本組織は、農地・水・環境保全対策事業時に複数の活動組織で取り組まれていたものを、事務の効率化を図るため、土地改良区が中心となって合併を推進し、平成27年度に旧香南町の大半を占める、県内でも有数の大規模組織として設立されました。構成員には、自治会や老人会、婦人会や子供会など非農業者の団体が多く在籍しており、特に景観形成活動や農業体験などで交流を図っています。また、土木業に携わる構成員を中心とした水路の目地補修や破損個所の補修などにも取り組み、良好な管理が行われるようになりました。農業用施設が良好に管理されることにより、安心して営農できる農地として評価され、参入する担い手数及び農地集積面積が向上しています。

【主な取組内容】

○34か所のため池を保全管理

堤体からの転落などの事故防止のため、安全啓発看板の設置やチラシの配布などにより防災対策の意識付けを図っています。管理しているため池の法面が長大なため、法面に小段(足場)を敷設しました。草刈り労力が軽減され、ため池堤体の点検も容易となり、変状の早期発見など、防災・減災力の強化の効果が発揮されています。また、ほ場整備事業完了農地において「田んぼダム」に組み込み、浸水被害の軽減に寄与しています。

○優良事例の発表をきっかけに土地改良区が組織を合併

平成25年に行われた中国四国シンポジウムにて、受賞組織の事例発表で土地改良区が事務を担っているという話を聞き、組織の事務は土地改良区が担えないかと気運が高まりました。それから2年をかけて、事務簡素化を目的に土地改良区が7つの組織と話をまとめ、合併する運びとなりました。



ため池法面の小段設置



農道の軽微な補修



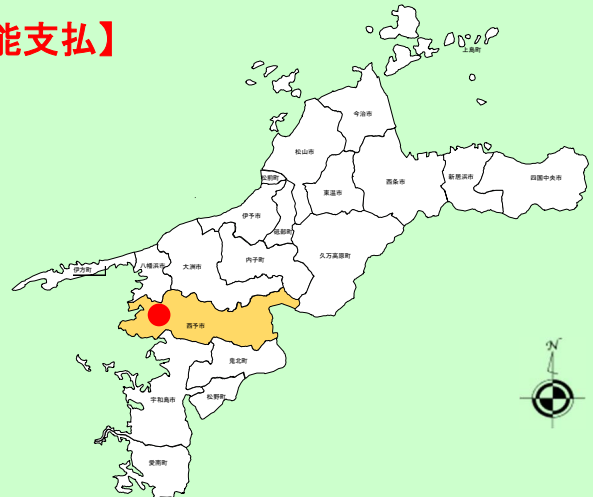
老人会との餅つき体験

令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（愛媛県）

【多面的機能支払】

もくしよ せいよし
「杵所資源保全班」（西予市）

- （１）認定農用地面積：24.51ha
（田：23.33ha、畑：1.18ha）
（２）組織構成：
1集落（農家19戸、非農家1戸）
開水路：4.6km、パイプライン：4km
農道1.7km、ため池：4箇所



【組織の概要】

本組織は、平成19年設立後、農業従事者の高齢化が進み、新規就農者も少ない状況の中、地域住民の協力を得ながら、農道の草刈りや水路の泥上げ、景観形成のための植栽及び外来種の駆除など、様々な取組を継続的に実施しています。

このような中、特に力を入れているのが、地元小学校と連携し実施している農業体験学習で、小学5年生を対象に、田植えや稲刈り、餅つきなどを行っており、子供達に農業体験の機会をつくることで、農業の大切さや農村をとりまく自然環境の豊かさなどへの理解促進、地域や農業への意識の向上に貢献しています。また、本活動組織は、農業者と非農家の連携が取れており、地域一体となって農村環境を維持管理する体制が構築されています。

【主な取組内容】

○非農家を含む地域全体での保全管理

4月から9月下旬にかけて、集落内の管理施設である開水路・農道・ため池・ポンプ場の草刈り、開水路の泥上げ等を農家・非農家を含む地域全体での保全活動として実施しています。組織を立ち上げた際に自治会が構成員として加入し、多面の活動を機に非農家が共同活動に参加することになりました。

○景観形成、外来種駆除、小学校との連携による地域住民の交流

地域の子供の数はかなり減少してきていますが、地元の小学校と連携して田植え等の体験学習を継続して実施しています。また、地域の遊休農地を活用してコスモスの植栽を実施しており、ほ場の中心部で実施した際は、看板の設置や立地の良さから多くの人を訪れました。また、毎年行うため池の中干作業に併せ、生態系に配慮したブルーギルなどの外来種駆除を実施しています。



水路の泥上げ



農業体験学習（田植え）



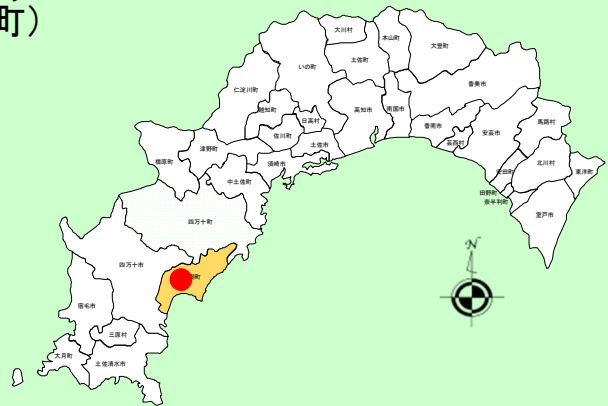
広報活動で看板の設置

令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（高知県）

【多面的機能支払】

ぶち
「鞭地区資源保全クラブ」
はたぐんくろしおちょう
(幡多郡黒潮町)

- (1) 認定農用地面積：32.27ha
(田：15.96ha、畑：16.31ha)
- (2) 組織構成：
1集落（農家8戸、非農家8戸）
開水路：18.7km、農道7.0km



【組織の概要】

本組織は、高知県西南部幡多地区の東部に位置し、温暖多雨で日照時間が長く、農作物の育成が旺盛な地域です。主な農産物として、ニラ、ブロッコリー、葉タバコ、ラッキョウなどのほか、豊富な水資源により良質な米が生産されている地域ですが、過疎化や高齢化を背景に、地域資源の維持管理が困難になってきております。このような課題に対応するため、平成19年に活動を開始し、現在は、農業者・非農業者合わせて16名で構成されておりますが、構成員には集落の自治会、青壮年部、婦人部、消防団、子供会、田役組合、消防団OB会といった農業関係以外の団体も含まれ、多様な人材の参画により、地域の共同活動のほか、地元のお祭りや老人会イベントによる交流も行われています。

【主な取組内容】

○中山間地域等直接支払（中山間直払）との連携

本組織の多くが中山間直払の対象農地と重複しており、中山間直払では個人配分や共同利用機械の購入に活用し、両交付金の連携・役割分担を行いながら、農家、地域住民等により、農道及び水路の草刈りや泥上げ、遊休農地発生防止のための保全管理などの地域共同活動に取り組んでいます。

○幅広い年齢層の多様な主体の参加と県外からの移住者の定着

草刈り、泥上げ、景観形成活動などは、主な団体（議員団（地区長会）、自治会、青年壮年部、子供会、婦人会）へ連絡網を通じて周知した後は、70歳代から20歳代の幅広い年齢層が自主的に参加され、それぞれ体力に合わせた場所で活動を行っています。

海が近いことから、サーフィンなどのマリンレジャーを生活に取り入れたい県外からの移住者が定着し、営農の担い手となっています。また、この移住者が仲介役として更なる営農希望の移住者の案内役にもなっています。



農道草刈り



景観形成活動



農村文化の秋祭り